

学しゅうようぐのきまり

1ねんせい

- ◆ 学校は、べんきょうをするところです。
- ◆ じゅぎょうでこまらないように、学しゅうようぐをきちんとそろえましょう。
- ◆ 学しゅうにひつようなものだけをもってきましょう。
- ◆ ふでばこのなかは、したにかいてあるものいがい、いれないようにしましょう。
- ◆ もちものには、かならずなまえをかきましょう。

ふでばこのなか

★ そろったら、○をつけましょう。

けずったえんぴつ (<u>2Bいじょう</u>) <u>5ほん</u>	こいじは、パッと うきでてみえ あたまのなかに、 はいやすいんだよ。
けずったあかえんぴつ <u>1ほん</u>	
よくきえるしろいけしゴム <u>1こ</u> (においのついていないもの)	らくに きえると、 またすぐに じがかけるね

☆授業に集中しやすくするためには、できるだけシンプルな学習用具を選ぶことが重要です。

子どもたちは、キラキラしたり、ゆらゆらしたり、においがついていたりと変わったものを持ちたがりますが、

学習のさまたげになるものを取り除いてやることで、
しっかり話が聞けるようになります。

☆ふでばこは、中のものがそろっているか、一目でわかる箱形のものがのぞましいです。
(缶のペンケースやチャック式のはあまりおすすめできません)

☆箱形筆箱・・・中のものがそろっているか、一目でわかります。



◆おどろぐばこ

☆ひつようなものが、わかりやすく、
とりだしやすいようにせいりしましょう。
それいがいのものは、せんせいにいわれたときだけ、いれるようにしましょう。



1年生 (はさみ・のり・クレパス・色えんぴつ)